

(令和2年8月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水産物全般	<p>8月は、台風による時化の影響や漁模様が不調であった魚種も多かったこと等により鮮魚の入荷量が少なかったことから、総入荷量は前年同月比で3%下回った。総取扱金額は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により鮮魚で需要が低迷したことから、前年同月比で9%下回った。</p> <p>9月は、北海道で白さけの定置網漁が解禁となり、これから入荷が増えてくることが見込まれる。白さけは別名「秋さけ」といい、産卵前で身に脂がのっているためバター焼きやちゃんちゃん焼きにすると非常に美味しい。是非、秋の便りを味覚で感じていただきたい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で10%下回ったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で養殖まだいやはもなど需要が低迷したことから8%下回った。</p> <p>品目別には、かつおの入荷量は前年同月を下回り単価は上回った。たこ、たら入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で17%上回り、単価は8%下回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷えびの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は、単価とともに前年同月並みとなった。</p> <p>品目別には、ちりめんの入荷量は前年同月を上回ったが、単価は贈答用の需要が伸びたことから前年同月並みとなった。塩さんまの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	千葉，兵庫，和歌山で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で22%下回り，単価は20%上回った。
ま い わ し	愛知，大阪で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で9%下回ったが，単価は中小型主体の入荷となったことから前年同月並みとなった。
さ ば	宮城，鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で16%下回ったが，単価は10%上回った。
す る め い か	石川で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で36%上回ったが，単価は売り行きが好調であったことから16%上回った。
太 物	総入荷量は，前年同月比で3%上回り，単価は10%下回った。
は も (近)	兵庫，愛媛で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で24%下回ったが，単価は需要が低迷したことから4%下回った。
か ま す	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で56%下回ったが，単価は需要が低迷したことから前年同月並みとなった。

※ 太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	加工用原料となるものの入荷が増加したことから入荷量は前年同月比で78%上回り、単価は35%下回った。
冷 する め い か	生鮮するめいかの順調な水揚げから入荷量は前年同月比で82%下回り、単価は27%上回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で21%上回り、単価は19%下回った。
塩 さ ば	入荷量は前年同月比で7%下回ったが、単価は需要が低迷したことから11%下回った。